「調査書」の記入について

東京学館新潟高等学校

(1)「受験番号」の欄

高等学校において記入する。

(2)「志願者氏名」の欄

生徒指導要録どおりに志願者の氏名を記入する。ただし、特別な事情により通称を記入する場合は、事前に連絡をすること。

(3)「性別」の欄

男又は女と記入する。

(4)「卒業年月」の欄

卒業又は卒業見込の年月を記入する。なお、卒業の元号が平成の場合は、令和を ═══ 線で消して、平成と書き改めること。「卒業　卒業見込」については、該当するものを◯で囲む。

(5)「各教科の学習の記録」の欄及び「総合的な学習の時間の記録」の欄

ア　令和５年度卒業見込みの生徒及び令和３，４年度卒業生

(ｱ)「第３学年の観点別学習状況」は、３年における観点別学習状況の評価を「評価」欄に記入する。この場合、「十分満足できると判断されるもの」をＡ、「おおむね満足できると判断されるもの」をＢ、「努力を要すると判断されるもの」をＣとし、評価できない場合は該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。その場合、副申書（様式自由）を添付することができる。

(ｲ)「評定」の１，２年の欄には、生徒指導要録の各教科の５段階評定を転記する。３年の欄には、調査書作成時までの評定を、絶対評価による５段階評定で記入する。ただし、不登校や特別支援学級等への在籍により、所定の欄に評定を記入することができない教科がある場合は、該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。その場合、副申書（様式自由）を添付することができる。※欄は空欄のままとする。

(ｳ) 外国の学校からの編入学等により、履修しなかった教科がある場合には、該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。その場合、副申書（様式自由）を添付することができる。

(ｴ)「総合的な学習の時間の記録」の欄には、取組の内容（テーマ等）と取組状況を簡潔に記入する。なお、取組の内容（テーマ等）と取組状況を記入できない場合には、その理由を記載する。

イ　令和２年度以前の卒業生

(ｱ) 令和２年度以前の卒業生については、別途調査書の様式を送ります。

「第３学年の観点別学習状況」の「評価」欄及び各教科の１，２，３年の「評定」欄には、指導要録の記載を転記する。ただし、不登校や特別支援学級等への在籍等により所定欄に転記することができない場合には、該当欄に斜線を引き、☆欄に指導要録の記載事項を転記する。なお、その場合、副申書（様式自由）を添付することができる。

(ｲ) 外国の学校からの編入学等により、履修しなかった教科がある場合には、該当欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。その場合、副申書（様式自由）を添付することができる。

(ｳ)「総合的な学習の時間」については、取組の内容（テーマ等）と取組状況を簡潔に記入する。なお、「総合的な学習の時間」を実施していない場合には、「総合的な学習の時間の記録」の欄に斜線を引く。また、取組の内容（テーマ等）と取組状況を記入できない場合には、その理由を記載する。

(6)「特別活動の記録」の欄

中学校３年間の学級活動、生徒会活動及び学校行事における生徒の校内の活動状況について、主な事実の記録を具体的に記入する。

ただし、令和４年度以前の卒業生については、卒業時の指導要録に基づき記入するものとする。

(7)「行動の記録」の欄

設置者が定める生徒指導要録記入の手引きに基づき、項目ごとに行動の状況を評定し、該当欄に○印を記入する。ただし、外国の学校からの編入学等により、記入できない場合は、当該欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。

(8)「出欠の記録」の欄

令和５年度卒業見込みの生徒の３年の欠席日数は、令和５年12月末日現在の日数とする。ただし、外国の学校からの編入学等により、記入できない場合は、当該欄に斜線を引き、☆欄にその理由を記載する。なお、「欠席の主な理由」は、各学年において欠席日数が10日以上のものについて記入し、記入事項のない場合は斜線を引く。

(9)「総合所見」の欄

生徒の成長の状況を総合的にとらえるため、以下の事項を参考として、特記すべきことを箇条書き等により端的に記述する。

○各教科等に関する所見
○特別活動に関する所見
○行動に関する所見
○生徒の特徴･特技、部活動、学校内外におけるボランティア活動などの社会奉仕体験活動、表彰を受けた行為や活動

(10)「校長氏名」等

調査書作成年月日、学校名、校長氏名を記入し、職印を押印する。

(11)「記載者氏名」の欄

記載者の氏名を記入する。